

石川県立社会教育センター・生涯学習センター 創立40周年記念式典・祝賀会 開催

去る5月27日(土)、当センター創立40周年記念式典が多数の御来賓列席のもと盛大に挙行され、石川県の生涯学習のさらなる発展を祈念しました。谷本正憲石川県知事の式辞に続いて、小倉宏春石川県議会議長、石原多賀子石川県市町教育長会会長のご祝辞を頂いた後、人間国宝・陶芸家の三代目徳田八十吉氏の演題「趣味と人生」の記念講演が開催されました。

また、厚生年金会館にて創立40周年記念祝賀会が盛大に開かれ、ご来賓の皆様より県議会を代表して紐野義昭県議会議員、県社会教育協会会長の奥名洋明様、小松市教育長の矢原珠美子様からご祝辞を賜り、引き続き山岸勇教育長(現副知事)より石川県の社会教育の発展に永年寄与された社会教育諸団体に対し感謝状の贈呈がありました。

160余名の関係者のご参加により、会場は祝賀ムードで大いに賑わいました。改めて感謝と御礼を申し上げます。



山岸勇教育長からの感謝状贈呈/祝賀会にて

感謝状受賞団体

石川県公民館連合会	石川県ユネスコ協会
石川県社会教育協会	ガールスカウト石川県支部
石川県新生活運動協議会	石川県青年団協議会
石川県ユースホステル協会	石川県婦人団体協議会
ボーイスカウト石川県連盟	石川県PTA連合会
石川県音楽文化協会	石川県高等学校PTA連合会
石川県海外青年交流協議会	石川県少年団体協議会

さらなる生涯学習の発展に向けて

石川県教育委員会 教育長 中西 吉明



本年、当石川県立生涯学習センターは、前身の社会教育センター開設以来、創立40周年を迎えました。この節目の年にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

近年、少子高齢化や高度情報化、「平成の大合併」による生活圏の変化等、社会は日々大きく変化しています。こうした中で、自分のライフスタイルや価値観を大切に、心豊かで充実した生活を送るためには、生涯を通じて学び続けることが重要になってきており、全ての人々が、生涯のいつでも、どこでも、自由に学ぶことができ、その成果が適切に評価される生涯学習社会の構築が求められています。

石川県教育委員会では、平成16年3月、「学びと出会いが創る輝かしいしかわの人と風土」を基本理念とする『石川県生涯学習振興ビジョン』を作成しましたが、当センターでは、その実現に向けて、昨年度、県民が自らの学びや経験をもとに講師を務める「県民企画講座」を開講して、学習成果を生かした社会参加の促進を図ってまいりました。また、本年度は、「生涯学習コーディネーター養成講座」を開講し、人材面から県民の生涯学習活動の支援を行っております。

今後、生涯学習のさらなる普及・啓発のためには、県と各市町・学校・民間との一層の連携・協働が重要になってまいります。当センターといたしましても、本県の生涯学習の中核施設として、生涯学習事業の一層の充実を図り、県民の皆様の期待に応えてまいりたいと考えております。

県民の皆様におかれましては、今後とも当センターが提供する学習機会や学習情報を積極的に活用していただき、心豊かな生活をお送りいただければ幸いです。

40周年特集

時代が求める講座をめざして

〈生涯学習コーディネーター養成講座Ⅰ・Ⅱの開設〉

平成18年度は、石川県立生涯学習センターがその前身の社会教育センターとして発足してから40年の節目の年である。この間の社会の変化は目覚しく、インターネットで居ながらにして世界中の情報を手に入れることができるようになるなど夢にも思わなかったことが今や当たり前となっている。

これまで当センターは、時代の求めに応じ県民大学校や同大学院を開設するなど、広く県民に生涯学習の機会を提供するとともに指導者の研修や生涯学習情報の提供に努めてきた。これからは生涯学習社会の実現に向けて、自らの学習成果を生かし、積極的に社会参画できるような仕組みや学習者自身の意識啓発を図ることが求められている。40年の節目の年を機に、当センター主催講座として新たに開設した生涯学習コーディネーター養成講座Ⅰ・Ⅱについて述べたい。

・新しい講座づくりの視点

生涯学習コーディネーター養成講座Ⅰ・Ⅱは、平成元年に開設した「高齢者アドバイザー養成講座」が平成8年度に名称を変えた「シニアライフコーディネーター講座」がその前身である。当初の目的は「高齢化・長寿社会の到来に備えて高齢者の方に充実した生活を送ってもらうために学んだことを活かす」ことであったが、近年、講座のめざすところが受講者に伝わらず、教養講座と誤って申し込みされる方が多くなり、受講者に対し行ったアンケートでも期待していたほどの講座内容でないという厳しい意見も出された。

このことを踏まえ、何が求められ、どんな講座を実施すべきか、また、団塊の世代の大量退職が始まることに備え生涯学習機関に求められる役割とは何かを考え、その一つの答えとして、学習成果を社会に還元させることができ、また、自発的に学習成果を生かして活動が行えるよう体系的に学び、かつ、実践できる講座を開設することとした。

・講座のめざすところ

生涯学習コーディネーター養成講座Ⅰは基礎編であり、同Ⅱは実践編であるが、本講座は単に自己の教養を高めるというものではなく、地域活動やボランティア活動などを通じて地域が抱える課題に積極的に取り組む人材の養成をめざしている。講座を通して、受講者は生きがいづくり、仲間づくり、地域づくり、ボランティアのノウハウを基礎から実践まで学習することになる。



地域活動の実際を語る講師 大塚吉江氏

“出会い” (5)



みんなで花を開かせよう!

山本 紀子氏
(いしかわ生涯学習講師の会)

私たちの会は「いしかわ生涯学習講師の会」で、平成13年に県民大学校大学院「講師養成コース」の修了生で設立されました。

現在、毎月1回生涯学習センターの研修室で学習会を催し、またこの6月からは、新たに県民大学校教養講座に加えていただき、「ひろさか緑陰講座」として開催しています。

これまで自分が学んできたもの、今関わっていることなどを是非皆様に伝えたいという熱い思いの人々と共にこうした活動が出来ることに、私は大変喜びを感じています。各講師たちは、マイクを前に顔を紅潮させて、少年のように澁刺と輝いております。

自らが興味ある分野と日々取り組み、探求していくことは、実に心楽しいことです。みんなでこれからやりたいことを、一つ一つ花開かせていきたいと願っています。

また、生涯学習センターの皆様方には、日頃の活動にご援助ご支援を賜り、深く感謝申し上げます。